



緑の募金贈呈

かがやく浜の子

平成27年11月

「言葉で伝える」ということ

2学期も後1ヶ月になりました。2学期は「やる気いっぱい」のステージです。「言葉と言葉で伝えること」を大切に教育活動を進めています。11月の朝礼ではあたためてこの内容を子どもたちに話しました。

地域の皆さんから「白羽小学校のあいさつはすばらしい」とよく褒めていただきます。

うれしいことです。でも、本当にそうでしょうか。ちょっと考えてみましょう。

昨日午後、お客様が学校に見えました。ちょうど6時間目の授業中で、浜の子発表会の準備をしている学級が多い時間でした。

2階の廊下で、一番最初にお客様と出会った6年1組の小野田拓馬さんは、「こんにちは」と一人でも大きな声であいさつをしました。そのあと何人かの子どもたちと廊下ですれ違いましたが、あいさつをする子はいませんでした。みんな、ずっと黙って通り過ぎていきました。

「おはようございます」や「さようなら」だけがあいさつではありません。

白羽小学校には20年も前から「あさしおごはん」の合い言葉があります。これは、白羽小学校の人たちが大切にしてきた伝統です。「あさしおごはん」の「あ」は、ありがとう。「さ」は、さようなら。「し」は、失礼します。失礼しました。「お」は、おはようございます。「ご」は、ごめんなさい。「は」は、はいの返事。「ん」は、さん、君付けで名前を呼ぶことです。

その中に、「こんにちは」も入れませんか。学校に来てくれた人はみんなお客様です。皆さんの「こんにちは」のあいさつも、広げていきませんか。

学校に来てくれた人を、教室に入ってきてくれた人を、「じろり」って見るのは失礼です。それはマナー違反です。マナーは「相手のことを思っている行い」のことです。

もちろん、授業に集中しているときにはあいさつはいりません。でも、休み時間に廊下で出会ったら、「こんにちは」とあいさつが返せたら、白羽小はもっともっとすてきな学校になります。

2学期は、言葉と言葉で伝えることを大切にしていける学期です。

授業の中でも、「浜の子発表会」でも言葉を相手に伝えることを意識して取り組んでいますね。そこには、必ず聞いてくれる人がいます。聞いてくれる人がいるから、話したくなる。一生懸命話す人がいるから、聞きたくなる。お互いに相手のことを思って言葉で伝え合ったり聞き合ったりすることは、お互いの心を温かくします。そして優しくします。優しい気持ちになれば、相手に優しい言葉を返したくなります。ほかの誰かにも優しく話したくなります。優しい気持ちがどんどん膨らんでいったら学校はもっともっと楽しくなります。

言葉の力はとても大きい。この頃、私が力をもらった言葉を紹介します。修学旅行で行った「カンドゥー」という仕事の体験で6年2組の齋藤洋文さんからもらった言葉です。

「いつも学校であいさつや学校をよくしようとしてくれてありがとうございます。」

洋文さんには、校長の私がこう映っているんだなと思うと、「今日もがんばるぞ」と元気がわいてきます。

白羽小学校はここにいるみんなの学校です。みんなの白羽小学校をみんなで作っていきましょう。

11月も言葉と言葉で伝えることを大切にしていきましょう。

(校長 増田久美子)